

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

2025年3月4日

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: 風の子保育園	種別: 保育所
代表者氏名: 田部井 大介	定員(利用人数): 60(61)名
所在地: 〒350-1307 埼玉県狭山市祇園21-43	

③総評

◇特に評価の高い点

(1)【保育の質の向上】

年度毎に利用者の満足度調査を行ない、集計・分析の結果を職員会議に於いて検討し、課題を明らかにしている。職員から出された意見については、具体的な展開内容を決めた上で、質の向上のPDCAの展開を図っている。職員に対する質の向上に関する教育・研修については、キャリアアップ制度で受講が義務付けられている。

(2)【食事・食育の工夫】

和食主体の内容で、野菜を多く取り入れている。又、食育の一環として畑で野菜を育成し自分で調理する調理保育を年数回取り入れており、食に対する関心が深まるよう工夫もしている。ある年齢から配膳等も子供が行い、陶器の食器は割れるものと学習したりしている。

(3)【障害のある子供への対応】

障害児認定を受けている児童やそれに準ずる対応が必要な児童には、関係各所や家庭と連携を取りつつ個別の対応もしている。又、障害のある子供の状況に配慮した個別の指導計画を作成し対応している。家庭との連携が大事になってくるので、面談等を行いつつ連絡を密に行っている。関係機関による巡回も定期的にして貰い幅広く対応している。

◇特にコメントを要する点

(1)【個別保育計画】

月案の中では個別の支援内容が策定されているが、グループ別のまとめとなっており個人別に成長の記録としてのファイルは策定されておらず、保護者のニーズ等の記載も確認出来ない。依って、個別保育計画の策定・実施・評価・見直しといった一連のPDCAの展開がされていない。

(2)【中・長期計画】

例えば、3年後にどのような保育園になっている事を目指すのかと云うビジョンがない為に、理念・保育方針の全体(職員・保護者含む)の周知度・理解度も曖昧になってしまっている様に感じる。園全体としての一体感、更に保護者をも巻き込んだ改善に向かう高揚感をどの様に醸成して行くのかが、喫緊の課題と感じられる。中期計画の作成方法のサンプルを園長に提示済み。

(3)【総合的な人事管理】

「職員共通理解」に期待する職員像等を明確にしているが、一方、人事基準を定めた上で目標管理等の職員の評価システムを構築すると云う作業が行われていない。職員をどの様に処遇しどの様に評価しているのかを職員とのコミュニケーションの中で伝え、又、職員の将来に向けた意向や意見を聞くチャンスとしての評価面談も出来る環境にはなっていない。

(4)【保護者のご意見から(回収率88%)】

今回の保護者のアンケートから、賛同(はい)の率が52%以下と低かった質問項目を挙げたいと思います。今後の皆様のご検討の中から質の向上/改善に繋げて頂けると幸いです。

①10% 外部からの不審者侵入に対する備えは万全だと思いますか。 問5-ウ

②43% 年間の保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。 問3-イ

③48% 不満や要望には的確に答えてくれますか。 問7-オ

④48% アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮は十分なされていると思いますか。 問7-キ

⑤52% 年間の保育や行事について、十分な説明がありますか。 問3-ア

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回第3者評価を通じて、保育園として改善をしていくべき点が多々あると感じた。全体的には明文化をしっかりとすることなど色々あったが、中長期計画に沿った事業計画を作り直す必要性を強く感じた。事業計画のサンプルを頂いたので参考にし、まずはここから手直しをしていきたい。保護者様のアンケートから多くの期待を読み取れたので、しっかり答えていきたいと考えます。改善点はありますが、1つ1つ丁寧に向き合い、サービスの向上に努めたいと思っております。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙